

東葛中部地区総合開発事務組合財政状況公表書

東葛中部地区総合開発事務組合財政状況の公表に関する条例（平成17年東葛中部地区総合開発事務組合条例第8号）に基づき、平成25年4月1日から平成25年9月30日現在までの財政状況を下記のとおり公表します。

平成25年12月10日

東葛中部地区総合開発事務組合
管理者 秋山浩保

記

東葛中部地区総合開発事務組合財政状況（一般会計）

- 1 まえがき
- 2 平成25年度当初予算の概要
- 3 一般会計歳入歳出予算の執行状況
- 4 財産及び地方債の現在高
- 5 平成24年度決算の概要
- 6 今後の財政運営方

東葛中部地区総合開発事務組合財政状況（一般会計）

1 まえがき

東葛中部地区総合開発事務組合（以下「組合」といいます。）の財政状況の公表は、柏市、流山市、我孫子市（以下「関係市」といいます。）からの分担金、負担金等がどのように使われているかについて、毎年6月と12月の2回行っているものです。今回は、平成25年度予算の平成25年4月から9月までの執行状況と平成24年度の決算の概要についてお知らせします。

2 平成25年度当初予算の概要

(1) 平成25年度予算編成方針について

日本の経済は依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、設備投資や個人消費等が緩やかに回復しつつあります。ただし、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然と高い中で、世界景気に減速感が広がっている状況が、日本の景気を下押しするリスクとなっています。また、電力供給の制約、デフレの影響等に十分注意が必要となります。

関係市においても、市税が減少する一方で、東日本大震災対策への対応や扶助費などの社会保障費を始めとした経常的な経費が増加しており、引き続き厳しい財政運営が続いている状況となっています。このため、各市とも歳入全般にわたり見直しを行い財源の確保に努めるとともに事務事業の見直しを行っており、事務組合の市負担金についても例外ではありません。

このような中、みどり園については民営化基本方針に基づくPFI事業の推進、斎場については施設の維持及び更新を進めていかなければなりません。さらに、両施設においては、市民サービスの充実に努めながら、効率的で計画的な運営が求められています。

このような状況を踏まえ、平成25年度の予算編成に当たっては、引き続き健全財政確保の観点から、事務事業全般について、見直しを行い簡素化及び効率化を積極的に推進すると

ともに、限られた財源を有効に活用するため、重要度・緊急性を十分検討し、優先度の高いものへ予算を重点的に配分していくものとなりました。

(2) 平成25年度における主要事業

ア 総務課（総務費）

総務課は、文書、人事、企画、事務管理等の総務事務、予算、決算、出納、財産管理、契約等の財務事務のほか、議会議務、監査事務を行っています。

イ みどり園（民生費）

みどり園は、障害者総合福祉法に基づく障害者支援施設として、設備機能を活用し、障害者の自立及び社会経済活動への参加を促進するため、生活介護、施設入所支援、短期入所サービス等の地域療育事業を行っています。

平成25年度は、PFI事業第2期の居住棟新築工事、平成26年度からの指定管理移行に伴う運営管理業務等の引継ぎを行っています。

ウ ウイングホール柏斎場（衛生費）

ウイングホール柏斎場は、火葬場、待合室、霊安室及び式場の管理業務、霊柩自動車の運行業務を行っています。

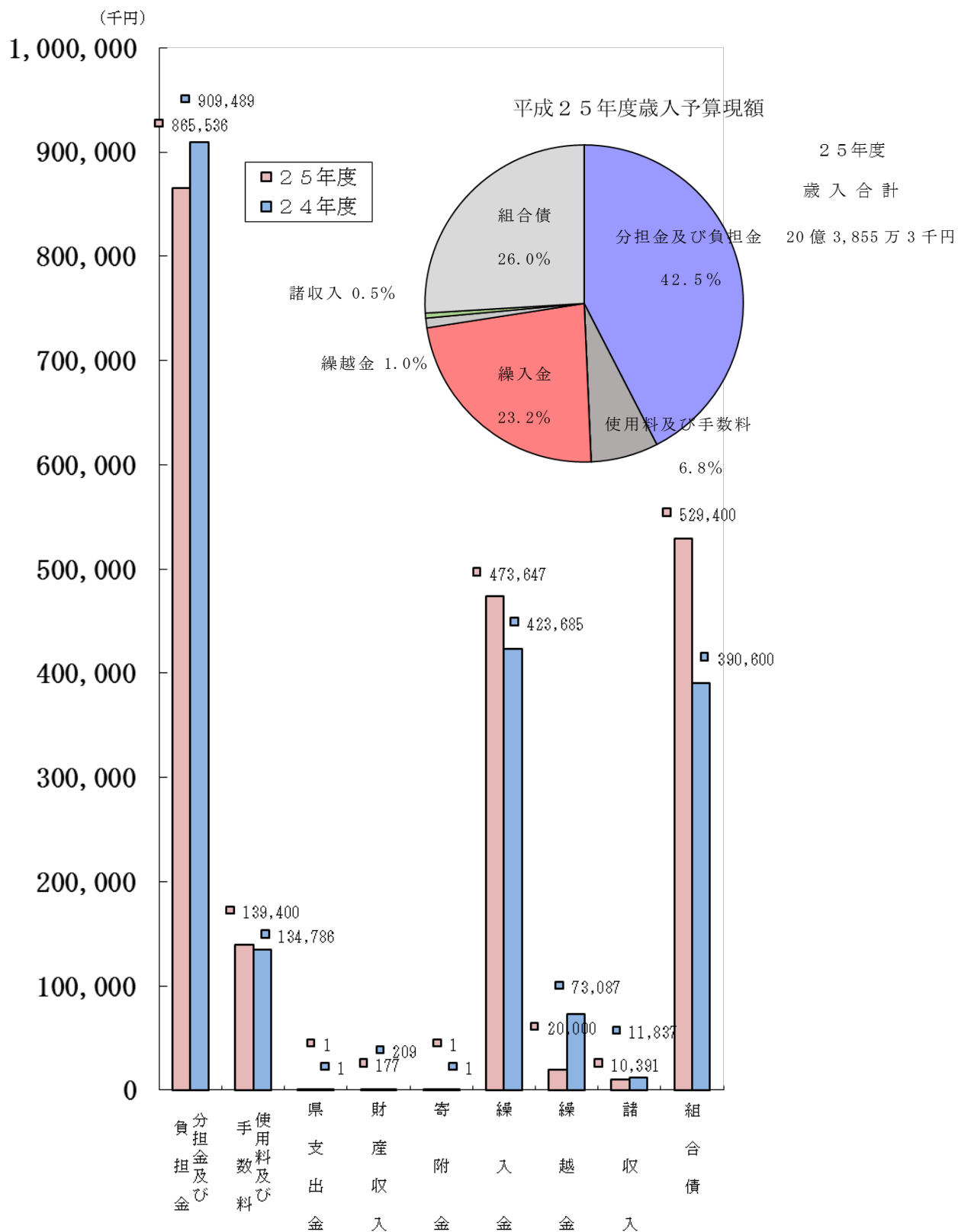
平成25年度については、利用者が快適かつ安心して利用できるよう施設設備の維持管理に努めるとともに、施設機能や設備の性能を十分に発揮するため、火葬炉の修繕等を行います。

3 一般会計歳入歳出予算の執行状況

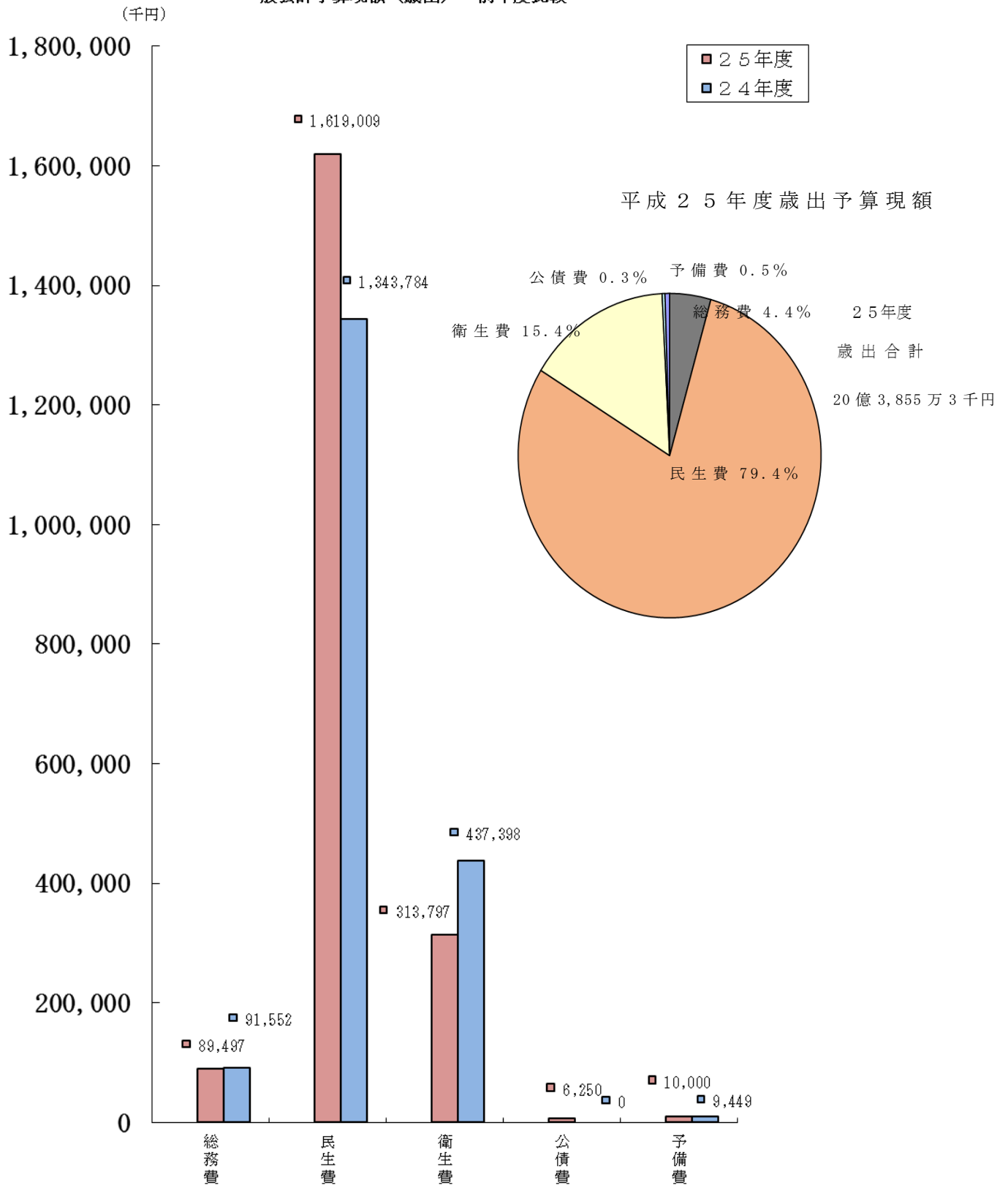
(1) 当初予算

平成25年度当初予算は、歳入歳出とも20億3,855万3千円で、前年度当初予算に対して、1億5,815万4千円（8.4%）の増額となっています。

一般会計予算現額（歳入） 前年度比較



一般会計予算現額（歳出） 前年度比較



(2) 収支状況

平成25年9月30日現在における収支状況は、「表1 平成25年度歳入歳出予算の執行状況」のとおりです。

表1 平成25年度歳入歳出予算の執行状況

(1) 歳入

(平成25年9月30日現在)

(単位：千円，%)

款	区分	当初予算額	補正額	予算現額	構成割合	収入済額	対予算現額 取入率	備考
1	分担金及び負担金	865,536	0	865,536	42.5	494,857	57.2	
2	使用料及び手数料	139,400	0	139,400	6.8	60,379	43.3	
3	県支出金	1	0	1	0.0	0	0.0	
4	財産収入	177	0	177	0.0	0	0.0	
5	寄附金	1	0	1	0.0	0	0.0	
6	繰入金	473,647	0	473,647	23.2	41,319	8.7	
7	繰越金	20,000	0	20,000	1.0	15,747	78.7	
8	諸収入	10,391	0	10,391	0.5	5,444	52.4	
9	組合債	529,400	0	529,400	26.0	0	0.0	
	歳入合計	2,038,553	0	2,038,553	100.0	617,746	30.3	

(2) 歳出

(平成25年9月30日現在)

(単位：千円，%)

款	区分	当初予算額	補正・充当額等	予算現額	構成割合	支出済額	対予算現額と の執行率	備考
2	総務費	89,497	0	89,497	4.4	44,053	49.2	
3	民生費	1,619,009	0	1,619,009	79.4	328,975	20.3	
4	衛生費	313,797	0	313,797	15.4	123,604	39.4	
5	公債費	6,250	0	6,250	0.3	1,318	21.1	
6	予備費	10,000	0	10,000	0.5	0	0.0	
	歳出合計	2,038,553	0	2,038,553	100.0	497,950	24.4	

4 財産及び地方債の現在高

(1) 財産

公有財産のうち土地は、斎場施設（ウイングホール柏斎場）と障害者支援施設（みどり園）を合わせて38,643.13㎡で、前年同期と変動はありません。建物は、障害者支援施設一部取壊し及び建設により770.22㎡の増となり、延べ床面積の合計は、11,611.73㎡です。

基金は、財政調整基金及び施設整備基金の現在高合計額が6億7,843万1千円で、前年度同期に対し2億2,404万7千円の減となっています。その内訳は、財政調整基金が2億4,222万4千円で前年度同期比1億3,715万5千円の減、施設整備基金が4億3,620万7千円で前年度同期比8,689万2千円の減となっています。

なお、組合の財産の状況は、「表2 財産の現在高」のとおりです。

表2 財産の現在高

(平成25年9月30日現在)

1 公有財産 (単位：㎡)

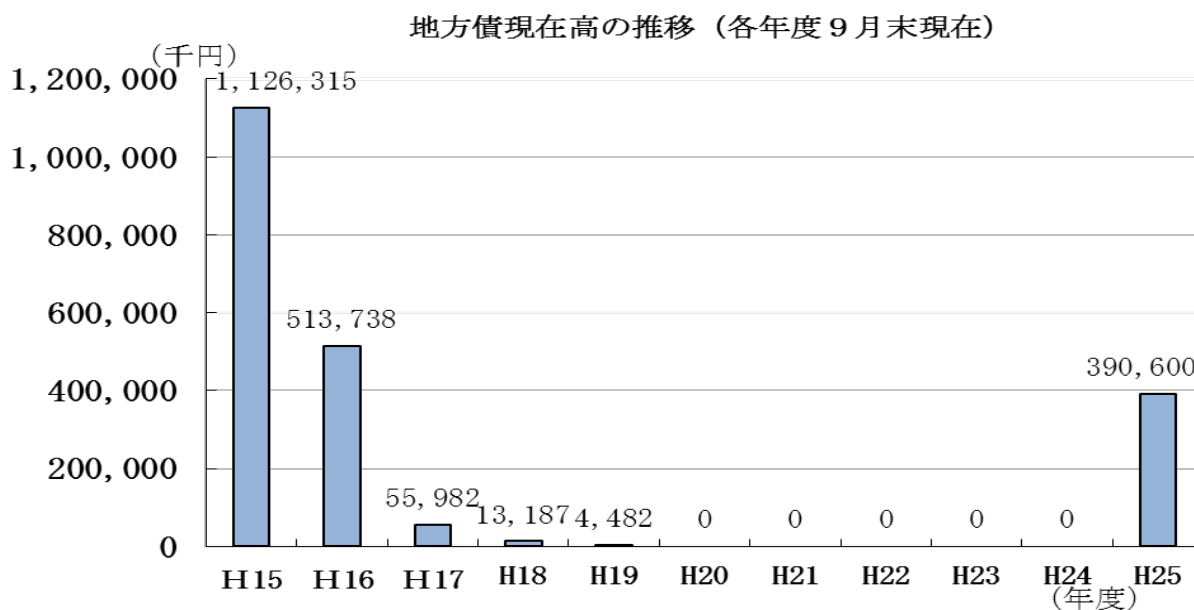
区 分	土 地	建 物		
		木造 (延面積)	非木造 (延面積)	延面積計
斎場施設	20,104.13	177.21	5,844.09	6,021.30
障害者支援施設	18,539.00	0.00	5,590.43	5,590.43
合 計	38,643.13	177.21	11,434.52	11,611.73

2 基金 (単位：千円)

区 分	金 額
財政調整基金	242,224
施設整備基金	436,207
合 計	678,431

(2) 地方債

地方債現在高の推移については、次グラフのとおりです。平成25年3月にみどり園建て替えのために3億9,060万円借入しました。



5 平成24年度決算の概要

(1) 当初予算

平成24年度の当初予算は、18億8,039万9千円で、前年度当初予算に対し、6億5,097万8千円（52.9%）の増額となっています。

(2) 補正予算

当初予算に対し、補正を2回行ったため、補正後の予算現額は19億4,212万円となりました。平成24年予算の補正状況は、「表3 平成24年度補正予算の状況」のとおりです。

表3 平成24年度補正予算の状況

(1) 歳入

ア 総括

(単位：千円，%)

区分 款	当初予算額	7月補正 (第1号)	12月補正 (第2号)	予算現額	構成 割合
		補正予算額	補正予算額		
1 分担金及び負担金	909,489	0	0	909,489	46.8
2 使用料及び手数料	134,786	0	0	134,786	6.9
3 県支出金	1	0	0	1	0.0
4 財産収入	0	209	0	209	0.0
5 寄附金	1	0	0	1	0.0
6 繰入金	423,685	0	0	423,685	21.8
7 繰越金	10,000	0	61,512	71,512	3.7
8 諸収入	11,837	0	0	11,837	0.6
9 組合債	390,600	0	0	390,600	20.1
歳入合計	1,880,399	209	61,512	1,942,120	100

イ 補正予算の内容

①7月補正（第1号）

(単位：千円)

款	事業内容等	補正額
財産収入	財産運用収入	209

②12月補正（第2号）

(単位：千円)

款	事業内容等	補正額
繰越金	繰越金	61,512

(2) 歳出

ア 総括

(単位：千円，%)

区分 款	当初予算額	7月補正 (第1号)	12月補正 (第2号)	予算現額	構成 割合
		補正予算額	補正予算額		
2 総務費	90,792	209	0	91,001	14.0
3 民生費	1,343,784	0	0	1,343,784	58.7
4 衛生費	435,823	0	61,512	497,335	26.5
6 予備費	10,000	0	0	10,000	0.8
歳出合計	1,880,399	209	61,512	1,942,120	100.0

イ 補正予算の内容

①7月補正 (第1号)

(単位：千円)

款	事業内容等	補正額
総務費	基金積立	124

②12月補正 (第2号)

(単位：千円)

款	事業内容等	補正額
総務費	残土処理委託	61,512

(3) 歳入歳出執行状況

歳入は、予算現額19億4,369万6千円に対し、収入済額は、18億9,192万1千円で、前年度決算と比べて5億6,45万5千円(42.1%)の増となりました。

また、歳出は、予算現額19億4,369万6千円に対し、支出済額は、18億7,617万4千円で、前年度決算と比べて6億1,779万6千円(49.1%)の増となりました。

歳入歳出差引残高は、1,574万7千円となりましたが、継続費逡次繰越額1千円があるため、実質収支額は1,574万6千円となりました。

平成24年度決算の概要は「表4 平成24年度一般会計歳入歳出決算」のとおりです。

表4 平成24年度一般会計歳入歳出決算

(1) 歳入

(単位：千円，%)

款	区分		継続費及び継続事業費繰越財源充当額	予算現額	収入済額	収入割合	構成比
	当初予算額	補正予算額					
1	分担金及び負担金	909,489	0	909,489	932,715	102.6	49.3
2	使用料及び手数料	134,786	0	134,786	126,744	94.0	6.7
3	県支出金	1	0	1	0	0.0	0.0
4	財産収入	0	209	209	311	148.8	0.0
5	寄附金	1	0	1	0	0.0	0.0
6	繰入金	423,685	0	423,685	355,173	83.8	18.8
7	繰越金	10,000	61,512	73,088	73,088	100.0	3.9
8	諸収入	11,837	0	11,837	13,290	112.3	0.7
9	組合債	390,600		390,600	390,600	100.0	20.6
	歳入合計	1,880,399	61,721	1,943,696	1,891,921	97.3	100

(単位：千円)

区分		柏市	流山市	我孫子市	左以外の市町村	合計
分担金及び負担金の内訳	市負担金	304,536	131,197	117,147	—	552,880
	障害者福祉費負担金	218,602	79,168	77,541	4,524	379,835
	合計	523,138	210,365	194,688	4,524	932,715

(2) 歳出

① 目的別歳出

(単位：千円，%)

款	区分		継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	支出割合	構成比
	当初予算額	補正予算額							
2	総務費	90,792	209	1	91,552	88,266	1	96.4	4.7
3	民生費	1,343,784	61,512	0	1,405,296	1,381,160	0	98.3	73.6
4	衛生費	435,823	0	1,575	437,398	406,748	0	93.0	21.7
6	予備費	10,000	0	0	9,450	0	0	0.0	0.0
	歳出合計	1,880,399	61,721	1,576	1,943,696	1,876,174	1	96.5	100.0

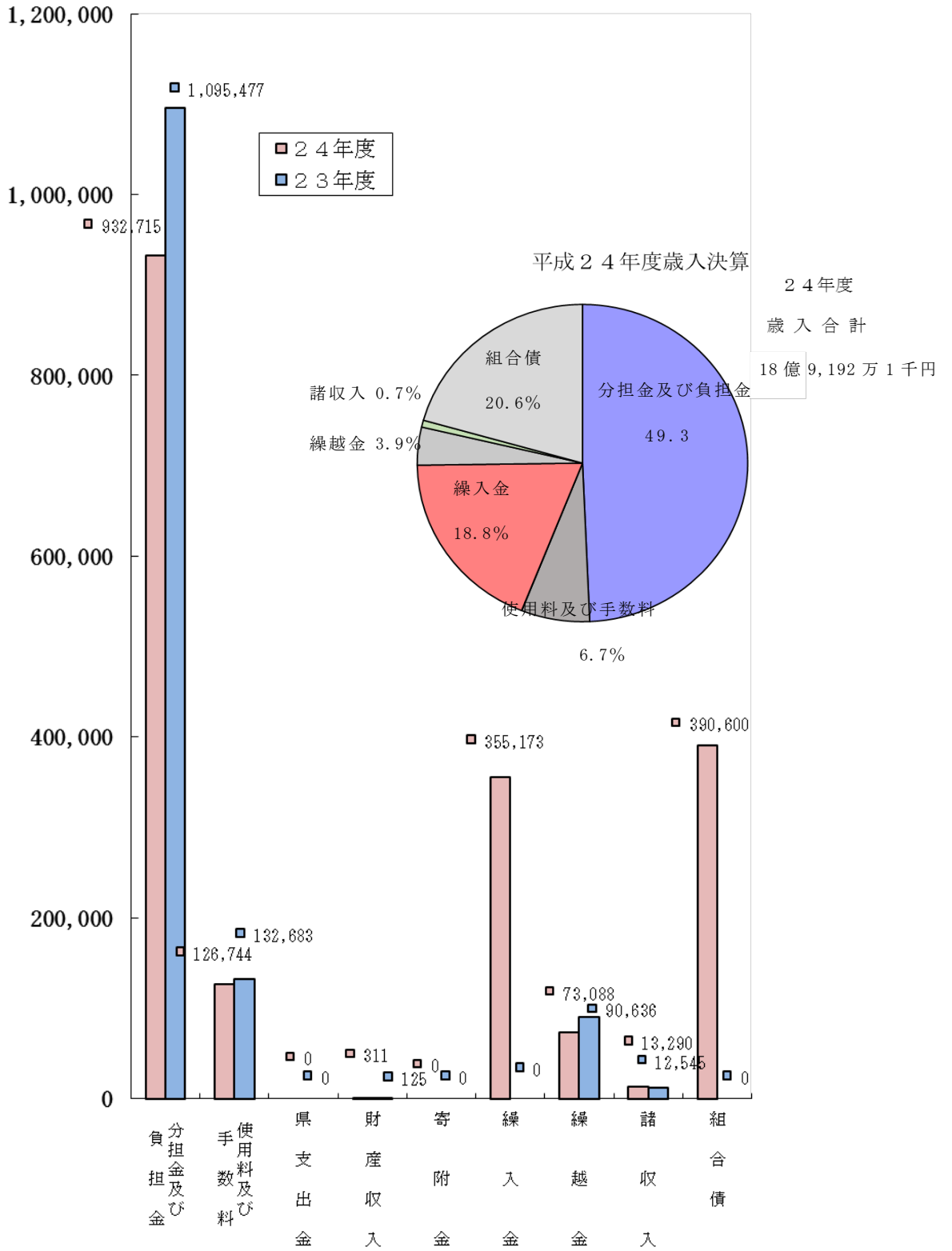
② 性質別歳出

(単位：千円，%)

区分	決算額	構成比	前年度比
義務的経費	655,057	34.9	0.8
人件費	655,043	34.9	0.8
扶助費	14	0.0	△ 76.3
公債費	0	0.0	—
經常的経費	547,400	29.2	10.1
物件費	533,723	28.4	15.6
維持補修費	0	0.0	△ 100.0
補助費等	13,677	0.7	△ 1.5
積立金	311	0.0	△ 99.6
普通建設事業費	673,406	35.9	2,088.2
単独事業	673,406	35.9	2,088.2
合計	1,876,174	100.0	49.1

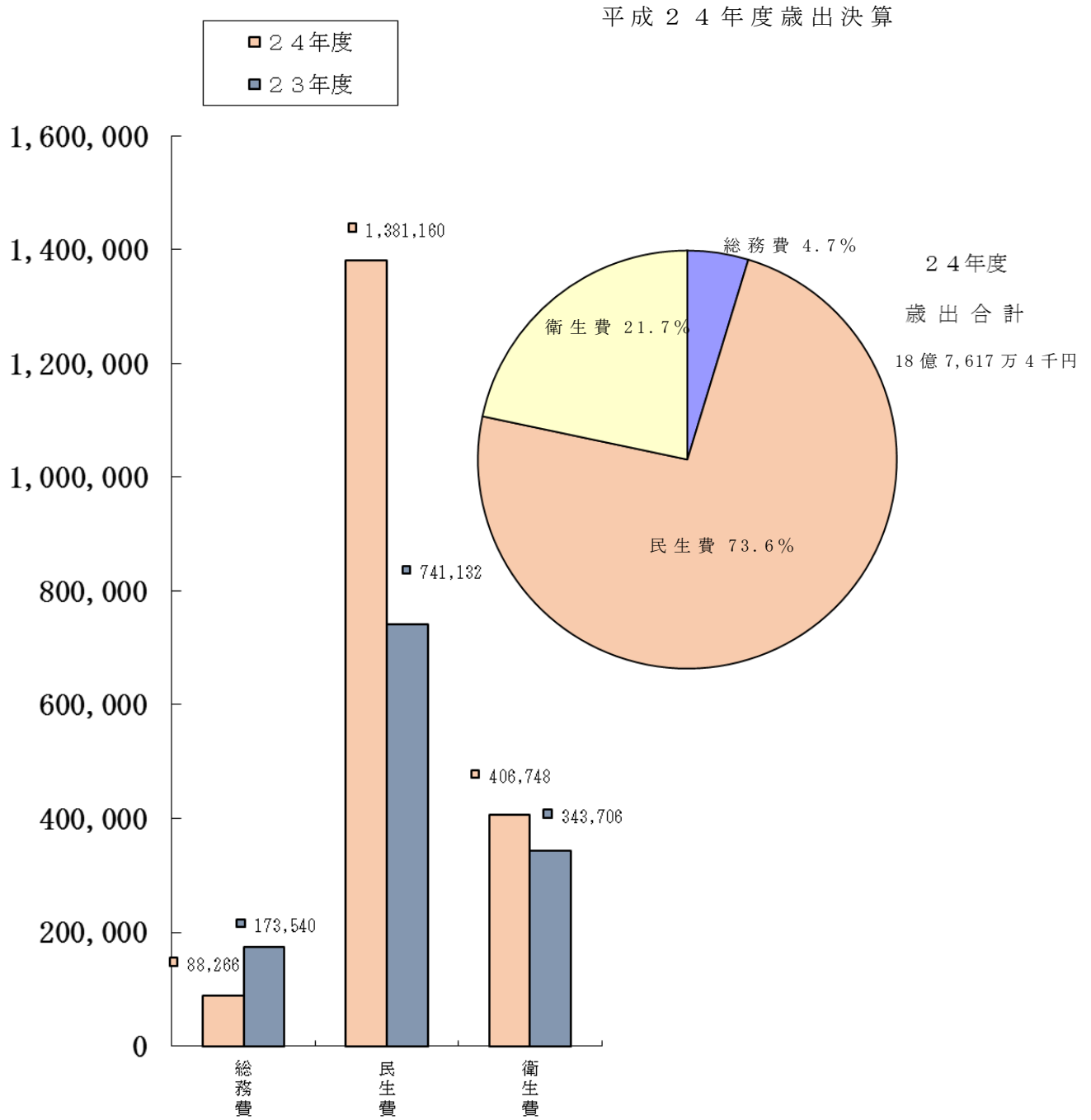
平成24年度一般会計歳入決算 前年度比較

(千円)



平成24年度一般会計歳出決算 前年度比較

(千円)



6 今後の財政運営方針

組合を取り巻く財政環境は、国内経済の低成長が続き、関係市においても、依然として厳しい状況が続いています。財源の中心を占める関係市からの負担金については引き続き抑制が求められています。

このような中において、みどり園については「みどり園民営化基本方針」に基づくPFI事業を、また、ウイングホール柏斎場については計画的な施設の維持及び更新を進めていかなければなりません。さらに、両施設においては、市民サービスの充実に努めながら、効率的で計画的な運営が求められています。

このような状況を踏まえ、引き続き健全財政確保の観点から、事務事業全般について、徹底した見直しと簡素化及び効率化を積極的に推進していきます。

